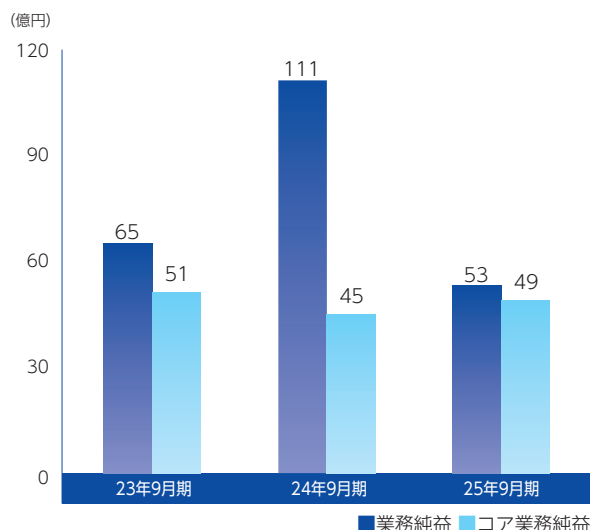


業務純益とコア業務純益

業務純益は、国債等債券売却益の減少等により、前年同期比58億46百万円減少し53億11百万円となりました。国債等債券関係損益と一般貸倒引当金繰入額を除いたコア業務純益は、経費削減に努めました結果、前年同期比3億83百万円増加し49億37百万円となりました。

業務純益とコア業務純益

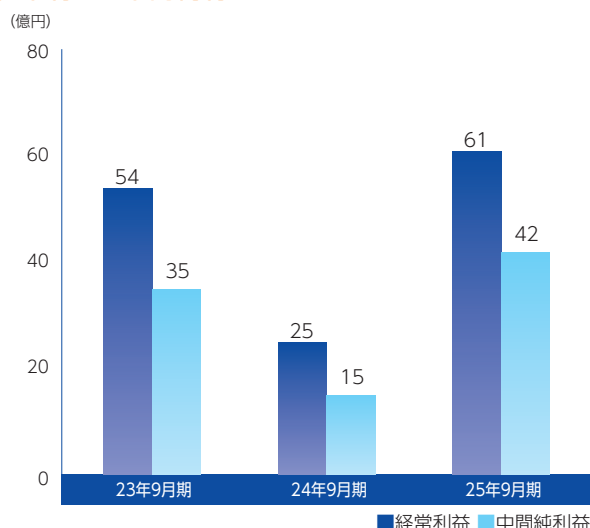


経常利益と中間純利益

経常収益は、国債等債券売却益の減少等により、前年同期比40億95百万円減少し236億15百万円となりました。経常費用は、株式等償却や個別貸倒引当金繰入額の減少等により、前年同期比76億39百万円減少し174億92百万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比35億45百万円増加し61億23百万円となりました。中間純利益は、前年同期比26億11百万円増加し42億6百万円となりました。

経常利益と中間純利益



総預金と個人預金

総預金(譲渡性預金含む)は、個人預金・法人預金・譲渡性預金の増加等により、前年度末比251億円増加し2兆5,104億円となりました。前年同期末比では879億円増加しました。個人預金は、前年度末比46億円増加し1兆6,833億円となりました。前年同期末比では74億円増加しました。

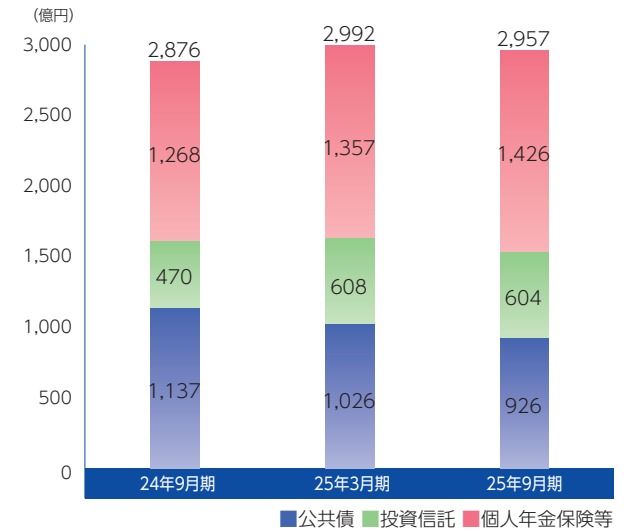
総預金残高(譲渡性預金含む)と個人預金残高(外貨預金含む)



個人預り資産

お客さまの資金運用ニーズの多様化にお応えするよう努めました結果、個人年金保険等は増加しましたが、公共債の減少等により、前年度末比35億円減少し2,957億円となりました。前年同期末比では81億円増加しました。

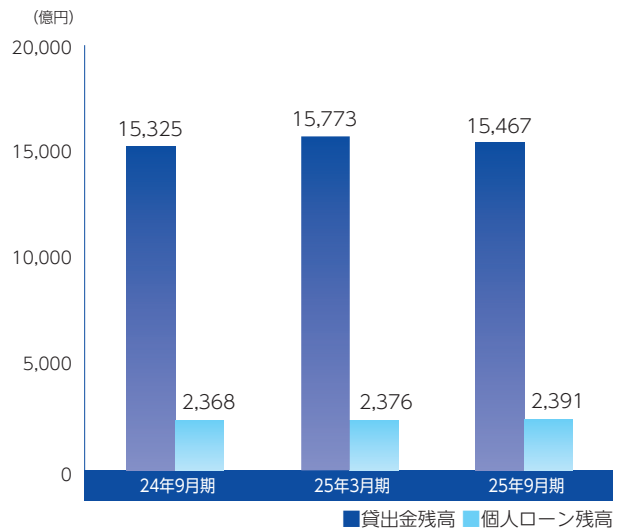
個人預り資産残高(公共債、投資信託、個人年金保険等)



貸出金と個人ローン

貸出金残高は、事業性貸出金等の減少により、前年度末比306億円減少し1兆5,467億円となりました。前年同期末比では142億円増加しました。個人ローンにつきましては、住宅ローン、その他ローンがそれぞれ増加し前年度末比15億円増加の2,391億円となりました。前年同期末比では、23億円増加しました。

貸出金残高と個人ローン残高



有価証券

有価証券は国債の売却等により、前年度末比59億円減少し7,753億円となりました。前年同期末比では47億円増加しました。

有価証券残高

